

神戸松蔭大学研究データポリシー

2025 年 7 月 3 日

神戸松蔭大学（以下、「本学」という。）は、「キリスト教の愛の精神を基本とした教育を通じて、他者への思いやりの心をもって社会に貢献する人材を育成する」ことを基本理念とし、教育活動を行っている。また、本学は、「神戸松蔭大学研究者行動規範」に則り、自らの研究分野を深く探究し、得られた専門知識、技術、経験を活かして、人類の健康と福祉、社会の安全と安寧、そして地球環境の持続性に貢献する研究者を支援している。

こうした本学の教育・研究活動による知的成果を蓄積し、それを社会に還元することで、学術の発展や持続可能な未来社会の実現に寄与することを目指すにあたり、その過程で得られた研究データの管理・保存・公開及び利活用に関する基本方針を以下のとおり定める。

なお、本ポリシーは、本学における研究データの管理、公開及び利活用に関する方針を示すものであり、法令、契約、本学が定める規程等の実施に制約を与えるものではない。

（研究データの定義）

1. 本ポリシーが対象とする研究データは、本学における研究と教育に関する学術活動を通じて収集又は生成されたデータをいい、デジタル・非デジタルを問わない。

（研究データの管理等）

2. 研究データの管理、公開及び利活用の方法は、それを収集又は生成した者が、法令及び本学の規程その他これに準ずるものの範囲内並びに他の者の権利及び法的利益を害さない範囲内において、決定することができる。

（大学構成員の責務）

3. 本学において、研究又は教育に携わる、本学専任教職員、研究所員、研修員、研修生及び本学大学院生等の本学構成員は、前項に掲げる範囲内において、研究データを適切に管理し、可能な限りそれを公開し、利活用に供する。

（大学の役割）

4. 本学は、研究データの管理及び公開、そして利活用を支援する環境の整備を推進する。

（その他）

5. 本ポリシーは、社会や学術状況の変化に応じ、適宜見直しを行うものとする。

以 上